



四日市市北消防署 北部分署

INDEX

- 02 特集 過去から学んで備える防災
- 08 四日市PLUS 豊かな自然を守る
- 09 四日市PLUS ようこそ泗翠庵へ
- 10 きらり四日市人 神田亜弥乃さん
- 12 ツナガル市民協働／四日市まちかどニュース
- 13 そらんぼ四日市へ行こう！／議会役員の選出
- 14 編集後記／広報紙で動画を見よう／市の情報発信源

令和元(2019)年6月5日発行

6月上旬号 No.1526

編集・発行／四日市市役所
広報マーケティング課
代表電話(総合案内) ☎354-8104
〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
HP <https://www.city.yokkaichi.lg.jp>

過去から学んで備える防災

60年前に伊勢湾台風を体験したことから、小学校の授業などで当時の様子や日頃の備えの重要性を伝えている、「伊勢湾台風の語り部」のお二人にお話を伺いました。

山野正隆さん

「想定外」を想定した備えを

伊勢湾台風が来た日の昼間は天気が良く、まさかこれほど大きな被害が出るとは思っていませんでした。当時高校2年生だった私は、弟たち家族と自宅の2階に避難していましたが、1階が浸水し、すぐそこまで水が迫ってきていたことを覚えています。台風が過ぎた数日後、決壊した堤防を地域の人たちと直しに行ったときにも、吹き返しの風が非常に強く、作業中の車の荷台から落とされそうになった記憶があります。60年が経った今でも台風が来ると風が怖いと思います。

国内で大きな災害があると、自分のことと考えて災害に備え準備をしますが、その後、平穏な日が続くと忘れてしまいがちだと思います。

防災・減災の技術は進歩しているので、伊勢湾台風と同じクラスの台風が来ても、同じ被害は出ないかもしれません。でも、自然災害では「想定外」と言われる大きな被害が発生します。まずは何か起きる前に、一人ひとりがしっかりと備えて、防災意識を高めることが大切だと思います。



多くの被害をもたらした 伊勢湾台風



1959年(昭和34年)9月26日夕刻に紀伊半島先端に上陸した台風15号(伊勢湾台風)によって、台風災害としては明治以降最多の死者・行方不明者数5,098名に及ぶ被害が生じました。本市においても、110余名の尊い生命と多くの住家・財産が奪われました。

◀壊れた防波堤(大協町)

台風や大地震などの自然災害は、ある日、突然発生します。いざその時が来た際は、しっかりとした備えと、一人ひとりの防災意識が大切です。過去の被害を教訓にして、いつ起きるかわからない災害に備えましょう。

今回の特集の内容は市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

ちゃんねる
連動

●地デジ12ch(CTY)

●6月21日(金)～30日(日)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30



高田きみよさん

防災は普段の生活の中に

伊勢湾台風が発生した当時、親が勤める会社の社宅に住んでいて、家族や同じ社宅の人と避難しました。当時10歳の私の膝上まで迫る洪水の中、大人は流されないようにロープを握り、私は父親の雨がっぱの中に入り必死についていきました。そのときの恐怖や臭いなどは、今でもはっきりと覚えています。

伊勢湾台風から60年が経過し、当時を知る人が減ってきています。大きな災害を経験していない世代の人たちに「四日市市でも大きな災害が起きるかもしれない」と意識してもらうためにも、体験を伝えていかないといいませんね。

災害への備えとして防災グッズを準備することは重要ですが、それらが日々の暮らしの中に存在していることが大事だと思います。防災グッズを玄関やリビングなどのすぐに手が届く場所に置いたり、雨がっぱを自転車のかごに入れておいたりして、とっさの行動に生かせるようにしていくことが必要だと感じています。



倒壊した家屋(大協町)



床上浸水が数戸に及ぶ磯津民家



片付けをする子どもたち

災害発生！ 大言先生！

そのときに必要な3つの

「助」

自分で守る

自助

防災の基本は、「自助」です。

自分の命は自分で守る、自分のことは自分で助ける・なんとかする、ということです。そのためには、事前の備えが必要です。災害に対する備えとしては、緊急避難グッズや非常食の準備、家具の転倒防止対策、住宅の耐震補強などがあります。

今できる事前の備え

自宅に常備しておくもの

- 食品 [約7日分(レトルト食品、缶詰、調味料、スープ、味噌汁など)]
- 水 [約7日分(1人当たり1日3リットル)]
- 簡易食器(割り箸、紙皿)
- 毛布、寝袋など 洗面用具
- カセットコンロ、燃料など
- 鍋、やかん 簡易トイレ
- 非常持ち出し袋



皆さんの自宅にある
緊急避難グッズや
非常食をチェック!

家族防災手帳でも
確認しましょう



災害時に必要な情報を得るために

安全安心防災メール

例年6月から10月ごろまでは、集中豪雨や台風などによって河川が増水しやすい「出水期」です。この時期は、全国的にも大雨に伴う土砂災害などが増加します。

四日市市では、防災情報などを携帯電話やパソコンにメールで送信する「四日市市安全安心防災メール」を運用しています(登録料無料)。まだ登録していない人は、この機会にぜひ、ご登録ください。



四日市市安全安心防災メール

登録は下記へ
t-yokkaichi-city@sg-m.jp
※空メール送信による登録

川の防災情報

国が管理する河川で、氾濫の危険が高まったとき、緊急速報メールが自動で発信されます。メールを受信したら、雨の降り方や鈴鹿川の今の水位を「川の防災情報」で確認しましょう。



アクセス!

パソコンから

<http://www.river.go.jp/>

スマートフォンから

<http://www.river.go.jp/s/>



地域で助け合う 共助

防災の基本は「自助」ですが、自分でできることには、限界があります。そこで重要なのが、家族だけでなく、自治会や自主防災組織などの身近な地域コミュニティ単位で、防災としての助け合い体制を構築し、また災害発生時に実際に助け合う「共助」です。

積極的に、地域の防災訓練に参加しましょう



住んでいる地域によって地形などの特性があるため、必要な防災活動も変わります。自分が住むまちの特性をよく知り、災害発生に備えましょう。

各地域での防災訓練の日程などは、地区市民センターが発行するセンターだよりなどでお知らせしています。

令和元年度 市民総ぐるみ総合防災訓練

日時／10月下旬 ※詳しくは広報よっかいち9月下旬号でお知らせします

個人や地域では解決できない問題を公的機関が解決することを「公助」といいます。

災害発生時には、市役所、消防署、警察署、自衛隊などが救助活動、避難所開設、救援物資の支給などを行います。

市では、大規模災害時に全国からの救援物資受け入れの第一次拠点となる総合防災拠点の整備を神前地区で着手し、令和2年度中の完成を目指して工事を進めています。

南海トラフ巨大地震 臨時情報

南海トラフ沿いの地域で、マグニチュード8～9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は70～80%（平成31年1月1日現在）とされており、大規模地震発生の切迫性が指摘されています。

平成31年3月、地方公共団体・企業などの防災対応に生かすため、国から南海トラフ巨大地震の防災対応ガイドラインが公表されました。次の三つの現象の場合、気象庁から臨時情報が発表されます。

- ①南海トラフの想定震源域内のプレート境界でマグニチュード8.0以上の地震が発生した場合
- ②南海トラフの想定震源域およびその周辺でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合
- ③ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合

（南海トラフ巨大地震の防災対応ガイドラインより）

公的機関の支援 公助

災害時の避難情報が変わりました

平成31年3月に国(内閣府)の「避難勧告等に関するガイドライン」が改定されたことに伴い、本市においても災害時の避難情報が変わりました。

市では、災害発生のおそれがある場合、市民の皆さんに「四日市市安全安心防災メール」や「防災行政無線」「エリアメール」など、さまざまな方法で避難情報を提供します。

どんなときに、どんな情報が出るか、また、そのときにどんな行動をとるのか、事前にしっかり確認して、防災・減災に努めましょう。



避難情報

	警戒レベル	提供する情報	市民の皆さんがとるべき行動
四日市市が発令	警戒レベル5	災害の発生情報	すでに災害が発生している状況です。 最低限、命を守る行動をとってください。
	警戒レベル4	避難勧告 避難指示(緊急) [※] <small>※緊急時や重ねて避難を促すときに発令します</small>	通常の避難行動ができる人も、速やかに避難を開始してください。
	警戒レベル3	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難に時間がかかる人は避難を開始してください。 その他の人もいつでも避難できるよう準備をしてください。
気象庁が発表	警戒レベル2	注意報	避難に備え、自らの避難行動を確認してください。
	警戒レベル1	警報級の可能性	最新の災害情報に注意するなど、災害への心構えを高めてください。

高

危険度

低



さまざまな災害に備える消防署

ドローン隊運用開始

近年、ドローンは世界的にさまざまな場面で活用されており、災害活動においても平成28年の熊本地震や平成29年の九州北部豪雨など、被害状況の把握に非常に有効であることが報告されています。

消防本部では、昨年度に高性能カメラを搭載したドローンを購入し、操縦員の養成を行い、本年4月1日からドローン隊を発足させ、運用を開始しました。

ドローン隊発足後、実際に市内で発生した災害現場でドローンを飛行させ、上空から被害状況を確認するなど、今まで困難であった活動が迅速かつ効率的に実施可能となりました。

今後も災害現場に限らず、調査など日常の業務においてもドローンを有効に活用していきます。



南消防署に救助工作車が登場



市域南部エリアの救助体制の強化・充実を図るため、新たに救助工作車を南消防署へ配備し、本年3月28日に運用を開始しました。

今回配備した救助工作車は、通常の救助資機材に加えて、テロ災害にも対応可能な資機材を装備しています。乗車スペースがとても広いので、化学防護服と呼ばれる防護服の着用が車内で可能となっています。

■主な装備

- ・ 電動油圧救助器具
- ・ クレーン、ウインチ
- ・ NBC(テロ災害等)対応資機材(化学剤検知器、陽圧式防護服、放射線防護服など)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

危機管理室 ☎ 354-8119 FAX 350-3022
消防本部 総務課 ☎ 356-2002 FAX 356-2016
広報マーケティング課 ☎ 354-8244 FAX 354-8315

豊かな自然を守る

生物多様性とは

生物多様性とは、生き物たちの豊かな個性とつながりのことです。地球上の生き物は40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生き物が生まれました。これらの生命は一つ一つに個性があり、すべて直接的・間接的に支え合って生きています。

■本市の自然環境

本市には、国定公園である鈴鹿山系の樹林、丘陵地の里山、河川や湿地、吉崎海岸など、多彩な自然があります。しかし近年、開発や外来生物の侵入など、さまざまな要因により、その多様性が失われつつあります。



冊子「よっかいちの自然 第1集 丘陵地や山地の林」

本市の自然の現況を適切に把握し、皆さんに身近な自然に親んでもらうため、自然環境をまとめた冊子を刷新・発刊しました。市ホームページ（[HP](http://www.city.yokkaichi.lg.jp) ID 1536889101682）で閲覧できるほか、市政情報センター（市役所北館）やそらんぼ四日市で、600円（税込）で販売しています。

数年撮りためていたものや新たに撮影したものなど、冊子には多くの動植物の写真を掲載しています。この冊子を読むことで“自然を見る目”を養う助けになると思います。

刷新前（24年前）と比べ、自然環境は変わりました。自然を放置しては、消えていく一方です。これからは積極的に守り、再生していく必要があると考えています。

四日市自然保護推進委員会・よっかいちの自然編集委員会
木村裕之さん



●放置された竹林



竹は放置すると増殖し、他の植物を枯らせたり、畑や家にもまで侵食してきます。

●シカによる食害



昔に比べてシカが非常に増え、口が届く高さまでの植物が食べ尽くされてしまった場所もあります。

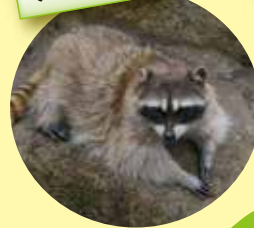
ある生物が減少するなどして生態系のバランスが崩れると、生物多様性が失われるだけに留まらず、私たち人間の生活へも影響を及ぼす可能性があります。「生物多様性」は他人事ではなく、私たちの生活に深く関わるものなのです。まずは周りの自然に興味を持ち、“自然を守る”ということについて考えることが大切です。



特定外来生物

もともとその地域に生息していなかった生き物で、人間の活動によって外国から入ってきた生き物を「外来生物」といいます。その中でも、特に生態系や農林水産業、人の健康などに悪影響を与える外来生物を「特定外来生物」といい、飼育・栽培・運搬・販売することや野外に放つことなどが法律で禁止されています。

アライグマ



ヌートリア



アライグマとヌートリアを捕獲するため、通報者の協力の下、箱わなの設置を行っています。詳しくは環境保全課へお問い合わせください。

今年7月に
開設25周年を
迎えます。

ようこそ泗翠庵へ

鶉の森公園の中に
抹茶を飲めるところがあるんだって！
一度行って見ない？



いす席だし気軽に楽しめるんだね！
お菓子と一緒にいただく抹茶って
おいしいな



本格的な抹茶って
苦そうだけれど大丈夫かな？
正座しないとダメ？
作法も知らないし不安…

呈茶は四日市茶道教授連盟に所属する先生たちが
毎日交替で担当しています。
分からないことがあれば気軽に声を掛けてください

泗翠庵は、日本古来の伝統文化(茶道・
句会など)に親しむことができる場として
平成6年7月、数奇屋建築の第一人者で
ある中村昌生さんの設計によって建てら
れました。気軽に抹茶を楽しむ立礼席
(いす席の茶席)のほか、広間と小間の貸
館を行っています。



また、より多くの皆さんに日本
の伝統文化に親しんでもらえる
よう、茶道体験教室や伝統文化
講座など、さまざまなイベントや
講座を開催して
います。



泗翠庵開設25周年記念事業

記念呈茶
①

桂二乗の落語と共に

時 7月6日(土) 13:00~15:00

記念呈茶
②

こと・さんげん
箏・三絃の調べと共に

時 7月13日(土) 13:00~15:00

記念茶会

時 11月3日(祝) 10:00~15:00

詳しくは同庵ホームページ(HP) <https://yonbun.com/shisuian/>または
広報よっかいち下旬号でご確認ください。



■所在地
鶉の森一丁目13-17
■休館日
月曜日(祝日の場合は翌平日)
■☎/FAX 352-4960

「夢は子どもがほっとできる
 場所をつくることです」



保育士×消防団員×市民リポーター
神田亜弥乃さん

私立保育園で保育士として働きながら、四日市市の消防団員や市民リポーターなどマルチに活動する神田亜弥乃さんにお話を伺いました。

有料広告掲載欄



店頭・出張買取OK!
 創業106年の歴史と信頼・実績!

紺文 小町屋
 KONBUN KOMACHI

タンスの中に眠っていませんか? 大量のお着物もお気軽に!

着物買取

貴金属・ジュエリーも高価買取中!



059-352-4253 ■四日市市鵜の森1丁目7-13
 ■9時~18時(木曜定休)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■保育士は天職だと思っています



保育士という道を最初に意識した出来事は、妹がバスケットボールの少年団に入っていて、そこにいた小さい子の面倒を見ていたときに、少年団のコーチに「保育士になったら」と言われたことでした。元々音楽が好きで音楽の学校に行きたいと思っていたのですが、いじめ問題や虐待のニュースが頻繁に取り上げられることがあったときに、子どもに関わる仕事をしようと思って決めました。保育士という仕事は歌も歌えますし、好きな工作もたくさんできるので、自分にとって天職だと思っています。

■震災や火事を見て防災士・消防団員に

東日本大震災があったときに防災の勉強をしたいと思うようになって、半年ぐらい三重大学に通って「みえ防災コーディネーター」の資格を取りました。それで防災士の試験を受けられるようになったので、防災士の資格も取りました。さあこれからどうしようと思っていたときに家の近くで火事があった、これは消防団に入って勉強するべきだなと思いました。消防団は女性が少ないですが、火の消し方などを真面目に勉強したかったので迷いはありませんでした。



■ロケを通じて、より四日市を好きに

「ちゃんねるよっかいち」の市民リポーターについては、元々番組を見ていて興味を持っていました。私は生まれてからずっと四日市に住んでいて、四日市が大好きだけどまだまだこのまちの魅力を分かっていないところもあって、もうちょっと知りたいなと思っていました。また、自分が今まで住んできたまちに何か恩返しができたらという思いもあって、オーディションを受けました。市民リポーターになってからは、いろいろな場所にロケに行ってお四日市のことをより好きになりましたし、四日市の活動に携わる人たちとの出会いもあって、すごく良かったなと感じています。



■「子どもがほっとできる場所」をつくりたい

いろいろなことに挑戦することについては、「なるようになるかな」「人生で後悔だけはしたくない」という思いで動いています。くじけることも悩むこともあります。「挑戦することで何かいいことがついてくる」と信じてやっています。

私の夢は、子どもがほっとできる場所をつくることです。今はその夢に向かって、いろいろな場所で勉強させてもらっています。大人の私たちが楽しんできらっと輝いていないと、子どもたちも未来を明るく見られないので、これからも自分の夢に向かって頑張っていきたいです。



6月放送のCTY「ちゃんねるよっかいち」やCTY-FM「よっかいちわいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労 四日市支部

随時加入者
募集中

三建国保

組合独自の
建設労働者の
健康保険

出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

参加者の満足度が高い話し合いとは？

市民協働安全課 (☎354-8179 FAX354-8316)

■充実した話し合いは難しい

自治会や市民活動団体の会議に参加して、なかなか意見がまとまらず困ったことはありませんか。みんなが良かれと思って発言しても議論の方向が定まらず、結論が出ないまま「今日はここまで」という経験をした人もいるかもしれません。

■円滑に話し合いを進めるには

市民協働を進めていくためには、さまざまな立場の人が力を

合わせて課題に取り組む必要があります。そのために有効な手段として、二つの具体的な手法を紹介します。

・ファシリテーション

中立的な立場であるファシリテーター（進行役）が、会議の運営をサポートすることを指します。活発な議論を促し、意見を整理した上で、合意の形成につなげます。

・円卓会議

多様な参加者が



同じテーブルにつき、対等な立場からお互いの考えや強みを理解し、それぞれの役割を主体的に果たすための手法です。方向性が未定の事柄に意思決定のプロセスから関与することで、その効果が発揮されます。

■話し合いから課題解決へ

話し合いを十分に重ね、相互理解を深めれば、そこで得られた結論への納得感や実現意欲の向上が期待できます。皆さんも会議の手法を工夫してみませんか。



◆改元記念フォトスポットを設置しました

(5月1日 四日市市役所)

観光交流課 (☎354-8286 FAX354-8315)



改元を記念してフォトスポットを市役所1階ホール内に設置しました。この日は、令和元年を迎えて初めての日ということで、たくさんのカップルが婚姻届を提出しに来庁しました。

もりでしたが、めったにない機会なので今日にしました」という声が聞かれました。



フォトスポットは12月27日まで設置します。こにゅうどうくんの等身大パネルや自撮りスタンドもありますので、市役所に立ち寄った際にはぜひ写真を撮ってみてください。



「新たな時代に新しい生活が始まるので新鮮な気持ち」ももとは違う日に提出するつ



有料広告掲載欄

～創業160有余年の信用と実績 お葬式・家族葬のことなら24時間365日お電話ください～



株式会社 ふじや本店
光倫会館
☎0120-114248

■本社／四日市光倫会館
〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015
【TEL】059-351-1151 【FAX】059-351-4224
■光倫会館 桜ホール
〒512-1211 四日市市桜町6613
【TEL】059-325-2482 【FAX】059-325-2483
■富田光倫会館
〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7
【TEL】059-361-2481 【FAX】059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



第39回

アポロ月面着陸50周年 げっせかい 月世界へ ~ FROM THE EARTH TO THE MOON ~



博物館・プラネタリウム (☎355-2700 FAX355-2704)

皆さんは月に行ってみたくて思ったことはありますか。今から約150年前、フランスの作家ジュール・ヴェルヌは「月世界旅行」というSF小説を発表し、人間が月へ向かう物語を書きました。それから約100年後、その物語はアメリカのアポロ計画によって現実のものとなりました。

アポロ計画は、アメリカのNASAが1961年から1972年にか

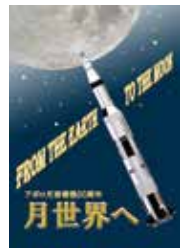
けて実施した有人の月探査ミッションです。数々の試験飛行を繰り返したのち、1969年7月20日、アポロ11号が月面着陸を果たしました。

人類初の月面着陸の瞬間をテレビでご覧になった人も多いかもしれません。

月面着陸から50年後の今、日本を含む世界各国は、再び月を目指しています。今後の月探査はどのように進んでいくのでしょうか。

博物館のプラネタリウムでは、6月11日(火)から、「アポロ月面着陸50周年 月世界へ~ FROM THE EARTH TO THE MOON ~」という番組の放映を始めます。

アポロ月面着陸50周年の節目の年に、月探査の歴史を振り返りながら、未知なる月の世界に飛び込んでみませんか。



議長に諸岡覚議員 副議長に中川雅晶議員

監査委員、議会運営・各常任委員会委員も決まる

議会事務局 (☎354-8257 FAX354-8304)

5月開会議会が5月16日・17日に開かれ、令和元年定例会の会期を令和2年4月30日までの351日間と決定し、議会役員が選出されました。(敬称略)

■議会選出監査委員 伊藤嗣也 森川慎

■議会運営委員会委員 (◎…委員長 ○…副委員長)

◎石川善己 ○樋口博己 荒木美幸 加納康樹 川村幸康 小林博次
竹野兼主 豊田政典 中村久雄 三木 隆 森 康哲

■常任委員会委員 (◎…委員長 ○…副委員長)

総 務 ◎荻須智之 ○豊田祥司 笹岡秀太郎 竹野兼主 土井数馬 豊田政典
樋口博己 森川 慎

教育民生 ◎中村久雄 ○平野貴之 荒木美幸 石川善己 伊藤昌志 川村幸康
後藤純子 村山繁生 森 智子

産業生活 ◎三木 隆 ○太田紀子 小川政人 笹井絹予 中川雅晶 早川新平
日置記平 樋口龍馬

都市・環境 ◎山口智也 ○谷口周司 伊藤嗣也 井上 進 小田あけみ 加納康樹
小林博次 森 康哲

予 算 ◎樋口龍馬 ○早川新平 ほか議長を除く全議員
決 算 ◎豊田政典 ○加納康樹 ほか議長および議会選出の監査委員を除く全議員



諸岡覚議長



中川雅晶副議長

有料広告掲載欄



終活のために整理整頓

高く売って万が一の備えに

タンスに眠っているのを 貴金属 時計 忘れていませんか?

創業106年の歴史と信頼・実績!

☎0120-928-319

高価買取中

紺文 アールデコ

四日市市芝田1丁目6-2(中央通り西詰) 9時~18時(木曜定休)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

編集後記

4月1日から災害用に小型無人航空機「ドローン」の運用を開始し、操作の訓練をした署員によるドローン隊が結成されました。今回は、四日市市北消防署北部分署で、ドローン隊の練習風景を撮影しました。一つ動作をするたびに大きな声で確認や指示をしていて、緊張感が伝わってきました。もしものときに頼りになる、新たな心強い存在です。(山中)



自分自身、防災の備えや災害時の心構えなどは、日々の生活の中でつい忘れてしまいがちになっているなと思いました。

今回の特集をきっかけに、災害時の行動や何を準備しておくべきかについて、改めて家族と話し合いました。

常に防災に関することを意識し続けることは大変ですが、この広報が皆さんの生活の中で防災を意識するきっかけになればと思います。

(小林)

広報紙で動画を見よう

- ①右のQRコードを読み取って「まるごと四日市」のサイトにアクセス
- ②表紙の「広報よっかいち」のロゴや下の「こにゅうどうくん」のイラストにスマートフォンなどをかざすと動画が見られます
※利用には無料アプリ「びこんず」のインストールが必要



ぼくにスマホをかざしてみてね!

今月の動画

- 三滝川慈善橋市場
- 茶業振興センター



こにゅうどうくん

市の情報発信源(6月)



手話・文字放送付き

放送時間(15分間)

月・水・金・日 9:30、20:30
火・木・土 12:30、20:30

CTY 地デジ12ch

1日(土)~10日(月) 未来へ、より良い環境を引き継ぐために
11日(火)~20日(木) 四日市市無形文化財「日永うちわ」
21日(金)~30日(日) 市民を守る!新たな力強い味方(防災)

※バックナンバーをYouTubeで配信しています
※番組DVDを広報マーケティング課、市立図書館(自動車文庫を含む)、楠交流会館図書室、あざげプラザ図書館で貸し出しています



市長自らが番組に出演し、四日市市の魅力を発信します。奇数月の21日~末日20:30放送



Mieライズ

毎月第3金曜日(例外あり)の「旬感☆Mie」のコーナーで市の情報を発信。6月は、20日(木)18:00ごろに放送します



シー・ティー・ワイ エフエム



「ALO! YOKKAICHI!」(5分間) 土曜日 19:54
…ポルトガル語による市からのお知らせ

「レディオキューブ♥FM三重 FM85.0MHz(市内)」「防災よっかいち」(5分間) 木曜日 12:55
…防災に関する情報をお届けします

「マンスリーよっかいち」(5分間) 第1・3・5日曜日 8:54、14:54
…市政情報をピックアップしてお届けします

「なるほど! 防災」(5分間) 月曜日 17:30、木曜日 8:30
…災害への心構えなど防災に関するお知らせ

「東海ラジオ AM1332kHz(市内)/FM92.9MHz」「1・2・3 四日市メガリジョン!!」日曜日 19:30
…四日市を起点に、東京~名古屋~大阪を巻き込むメガリジョン番組

「よっかいち わいわい人探訪!」(5分間) 第2・4日曜日 8:54、14:54
…四日市で生き生きと活動している人の活動現場の声をお届けします

「人権を確かめあう日」(5分間) 毎月22日 6月は、7:54、10:54、13:54、18:30

市ホームページ <https://www.city.yokkaichi.lg.jp>



スマホ・タブレットで広報紙が読める!



Catalog Pocket



「よっかいち」で検索



広報用SNSやっています!
アカウント名「よっかいち広報」

フェイスブック



ツイッター



有料広告掲載欄

ええやん♥里親 里親制度説明会

子どもたちのHAPPYのために、まずは一歩。里親を「知る」、里親を「応援する」、里親に「なる」わたしたちができることから始めてみませんか?

♥日時:7月13日(土) 10:30~12:30(受付開始 10:00~)

♥場所:川越町役場総合センター いきいきセンター 2階 大研修室 (三重郡川越町大字豊田一色314)

児童養護施設・乳児院では、職員(児童指導員・保育士・看護師・心理士)を募集中です。お問い合わせは、エスプランズ四日市 本弘(モトヒロ)まで TEL:059-346-1371

社会福祉法人アパティア福祉会
主 催 / 児童家庭支援センターまお(エスプランズ四日市内) 080-6983-6863・059-346-1371 (まお直通:9時~16時) (エスプランズ四日市)

事前申し込み不要
参加無料
託児要予約
mao@apatheia.jp
「里親制度まお」検索

Supported by THE NIPPON FOUNDATION 助成: 日本財団

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 311,630人 [4月末日現在(前年比-241)] ■火災件数 8件 [4月分(前年比-7)] ■交通事故件数 925件 [4月分]